



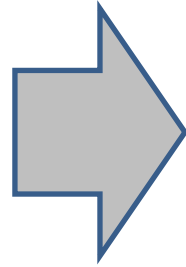
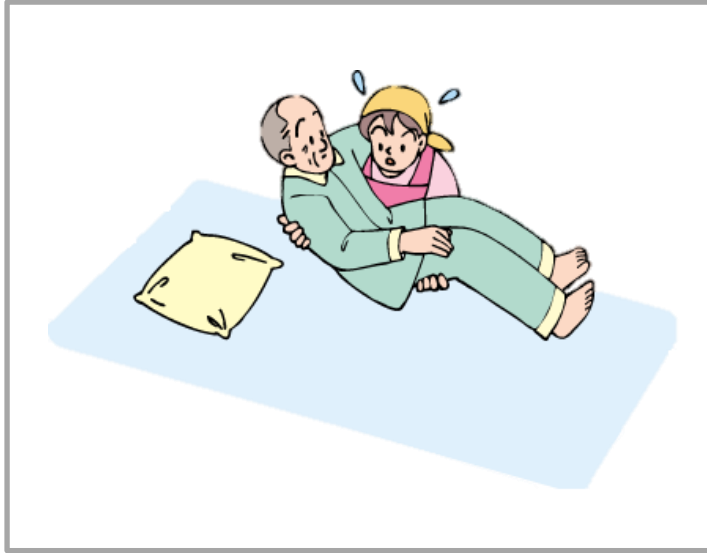
介護テクノロジーによる 高齢者の移乗介助

ROBOHELPER SASUKE

 マッスル株式会社

ヘルスケア事業開発部長
尾形成美
(Nurse/MBA/MOT)

2. SASUKEのご紹介 (概要)



誰でも・一人で・らくに・簡単に
「人を人らしく介助」が

Made in Japan の品質と信頼性
おもてなしの心で世界の人と人をつなぐ



SASUKEによる移乗イメージ (標準型車椅子)

2. SASUKEのご紹介 (事例)

体重過多



円背



拘縮



皮膚トラブル



骨折

Before



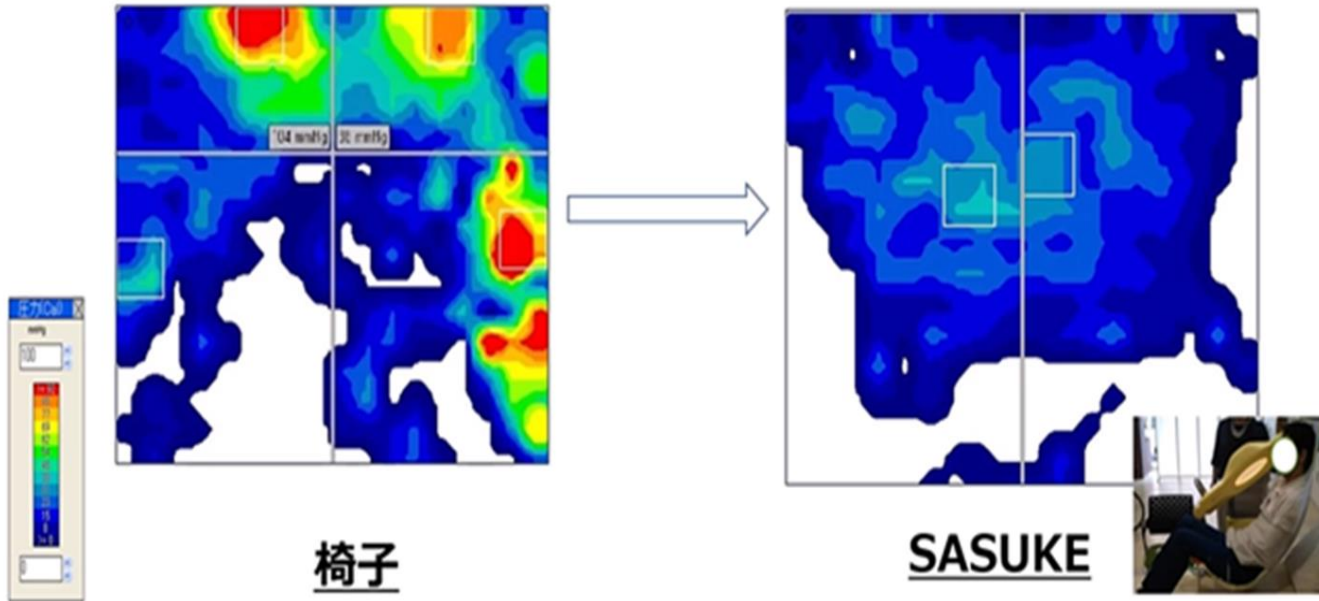
After



上腕骨骨折
ケアの質 ↑

2. SASUKEのご紹介 (安心安全)

SASUKEを使用した圧測定 (座位)



測定日：2018.9.7 測定機器：コンフォートライト 測定対象者：男性(67kg)

ISO13482

マッスル株式会社へ認証書発行
- ISO 13482に基づく身体アシストロボットの認証 -

2018年12月15日
一般社団法人日本品質保証機構

当機構は、2018年12月14日付で、マッスル株式会社（以下、マッスル社）に対してISO 13482^{※1}に基づく認証書を発行し、認証書の発行を完了しました。認証対象は、Physical assist robot（身体アシストロボット）です。

本認証は、パーソナルケアロボット（生活支援ロボット）の安全性に関する国際規格ISO 13482に基づいて、当該規格が適用される製品である「ROBOHELPER SASUKE」に対して安全性を評価し、認証したものです。

国際規格ISO 13482認証マーク

※1 ISO 13482 Robots and robotic devices - Safety requirements for personal care robotsは、パーソナルケアロボット（生活支援ロボット）の安全性に関する唯一の国際規格として2014年に国際標準化機構（ISO）から発行された国際規格です。本規格の対象となる製品は、Physical assist robot、Proble solver robot および Person carrier robotの3つのタイプのロボットです。

当機構、国立研究開発法人産業技術総合研究所（AIST）、一般社団法人日本品質保証機構（JQA）は共同で、国際規格の国内標準化委員会において国際標準化協議活動に参加すると共に、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が実施した「生活支援ロボット実用化プロジェクト」に参加し、生活支援ロボットの認証活動を推進してまいりました。

さらに、2013年度に経済産業省によって開始され、2015年度から国立研究開発法人日本経済研究開発機構（NAREDI）が実施している「ロボット介護機器開発・導入促進事業」では、経済産業省と厚生労働省が「ロボット技術の導入促進に向けた推進活動」の一環として実施した「生活支援ロボット実用化プロジェクト」の推進活動の一環として、導入促進活動を行うことにより、製品の安全性の向上や消費者の認知促進を実現し、ロボット介護機器の新たな市場の創出を目指しています。本認証は、生活支援ロボット実用化推進センター^{※2}における認証活動の一環として行われたこととなります。

また、今回の評価・認証では、生活支援ロボット実用化推進センター^{※3}における認証活動が行っており、これまでのプロジェクトの成果が活かされています。

高齢・高齢化された生活を支援するロボットを市場に導入する際に、第三者機関による評価が認められることにより、信頼性による消費者の安心を高めることと社会的に活用することとが、利用側などに対する安心と信頼性を高めることと繋がります。

今後さまざまな生活支援ロボットの開発と利用が予想される一方で、第三者の場で製品の安全性を評価する活動に力を入れたいと考えています。

当機構による評価・認証に関する詳細な情報は、下記URLのリンク先までご確認ください。

※2 ISO 13482 - パーソナルケアロボット（生活支援ロボット）の安全性に関する国際規格、2014年12月に国際標準化機構（ISO）から発行された。

※3 生活支援ロボット実用化推進センター - 2019年12月に国立研究開発法人産業技術総合研究所（AIST）が実用化プロジェクトの一環として設立された生活支援ロボット実用化推進センター - 一般社団法人日本品質保証機構（JQA）が実施している。

2. SASUKEのご紹介 (特徴)

密になりすぎない移乗



3. 海外展開 (発端～現在)

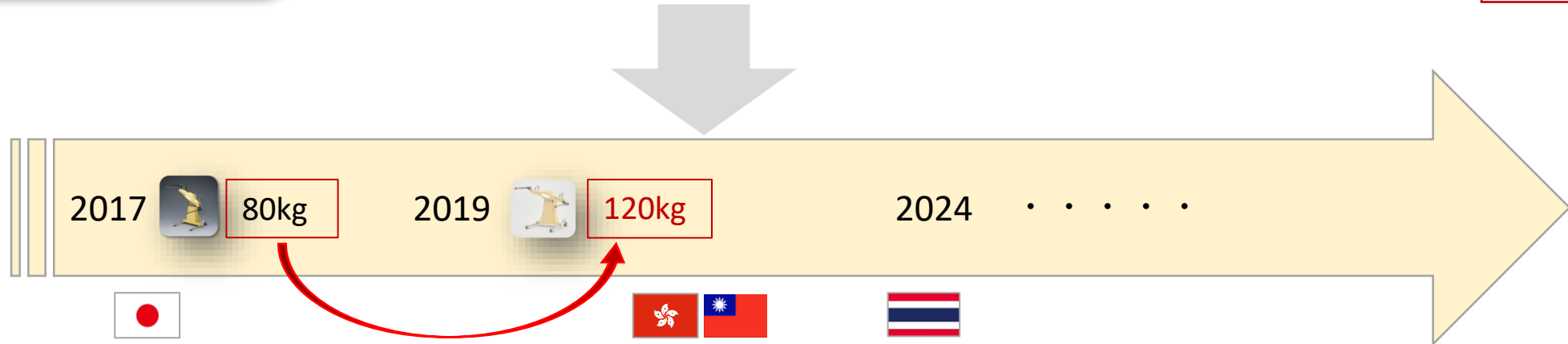
■ 2017 MEDICA (AMED)

世界最大級の医療機器見本市 (ドイツ:デュッセルドルフ)



- ・ 高齢化問題は日本だけでなく世界の課題
- ・ ロボット介護機器への興味は大きい
- ・ 「**人らしく**」 介助への想いは同じ
「**抱上げ式**」 への評価は高い

世界
共通



3. 海外展開 (今後)

判断基準 (例)

体格の類似：仕様 耐荷重120kg
ロケーション (距離)：輸出コスト
アフターフォロー



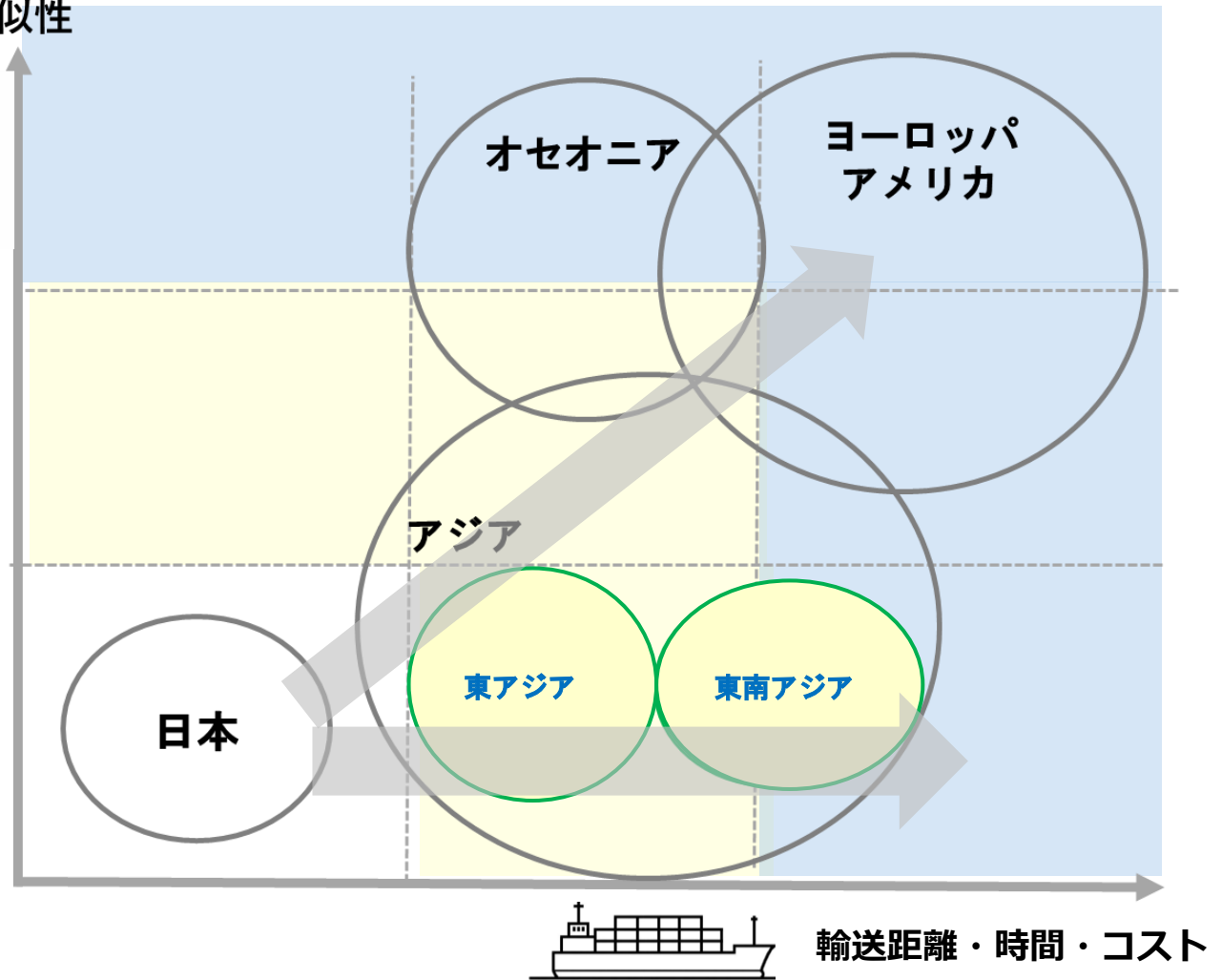
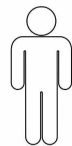
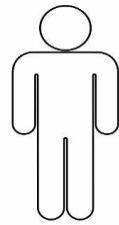
近隣で体型等が日本人に近い東アジア
から展開開始

既存事業拡大エリアを選択



その後
新規事業エリアへと地域へ拡大

体型等類似性



3. 海外展開 (KSF)

海外展開の背景：

SASUKEへの取り組みは新規事業のため、ゼロから、しかも、少数部隊でスタート



ご清聴ありがとうございました。

※内容には発表者個人の感想も含まれます。



介護ロボットポータルサイト



ヘルスケアHP

連絡先：
マッスル株式会社
ヘルスケア事業開発部
e-mail:ogata@musclecorp.com

